

株式会社 杉本商事 [資源再生業]

環境3Rの時代において、まだまだ資源にできるものは多々あります。有用な資源をできる限り有効に利用することで、排出事業者及び地域社会に貢献したいと活動しています。

【施設DATA】

所在地：滋賀県彦根市南川瀬町 771 番地

事業概要：産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬、産業廃棄物中間処理及び古紙等回収

電話番号：0749-28-2213

URL：<http://s-shoji.jp>

■収集運搬・資源回収・リサイクルの総合企業

当社は1985(昭和60)年に法人化し、収集運搬だけでなく中間処理事業へ発展させて、現在は(株)杉本商事と(有)杉本紙業とがグループ体的に事業を行っています。

一般廃棄物収集運搬については滋賀県内14市及び広域行政、産業廃棄物収集運搬は近畿、北陸、中部、中国地域に対応できます。中間処理は焼却、熔融、破碎、圧縮固化を行っており、一部の施設では滋賀県産業廃棄物税条例に係る再生施設の認定を受けております。

また、古紙問屋として古紙回収・リサイクルを行なっています。古紙リサイクルでは王子製紙(株)の直納権を得ており、更に、古くから(株)平和堂と廃棄物処理、再資源化で連携を図り、2004年には平和堂リサイクルセンターの設立に協力しています。

ISO14001認証は、1999年に(有)杉本紙業が国内古紙問屋としては逸早く取得しました。2004年には(株)杉本商事も認証取得し、現在はグループ全体の認証登録となっています。



■再生紙やトイレトペーパーへリサイクルで古紙回収を促進

古紙回収は当社の原点であり、(有)杉本紙業は滋賀県より再生事業者登録(第0001号)を取得しております。再生紙へリサイクル可能な古紙等は製紙原料用にプレス加工して出荷し、主に王子製紙(株)で再生紙へリサイクルされています。

古紙回収の促進と意識付けのために、トイレトペーパーへのリサイクルを進めています。その包装紙に「リサイクルの輪その手から」というキャッチコピーを書き入れ、回収先へ購入代金に換えてトイレトペーパーを収めます。回収先の会社ではそれをトイレに置くことで社内の古紙リサイクルの啓発となります。子供会や町内会活動では代金とともにトイレトペーパーも配布して回収促進に役立てます。更に、回収先企業と連携して、回収先企業へ回収代金を渡す代わりに、その企業のオリジナル包装紙を使ったトイレトペーパーを地元の自治体等へ納入することで、回収先企業の地元への社会還元役に役立てて頂いております。



■固形燃料化を中心としたリサイクル工場(リサイクリング ファブリーク)を運営

リサイクルではできる限りマテリアルリサイクルできればよいのですが、それが困難な廃棄物が多くあります。清浄な分別品は有価物としてマテリアルリサイクルできますが、マテリアルリサイクルが困難な廃プラスチック類、紙くず、木くず等は固形燃料 (RPF) 化等の処理をしてサーマルリサイクルにします。このため、2006年にRPF製造設備を導入してリサイク

図 RPF製造設備、工程フロー及び処理証明映像



リングファブリークを新設しました。

その設備と工程フローを図に示します。搬入された廃プラスチック類や紙くず等は材質や品質ごとに手選別され、設備のコンベヤで破碎機へ投入されます。磁選機によって金属類を取り除き、圧縮固化機へ送られ、そこで 120℃~180℃に加温しながら押し出し成形法で直径 3cm×長さ約 10cm のペレットにします。ほぼ全量が製紙会社の化石燃料の代替として使用されています。

塩素を含む廃プラスチック類は RPF に使えません。不明な原料は事前に塩素量測定機で品質を確認します。また、廃棄製品等の他への流通を防止するため、処理証明として図に示すような処理映像を DVD 化して添付してお客様へ安心をお届けできるシステムも備えています。

■発泡スチロールの溶融処理、処理困難物は焼成まで行なう焼却処理も可能

梱包材・緩衝材・容器等に大量に利用される発泡スチロールは溶融設備 (写真上) で粗破碎し、熱風を利用して減容します。

固形燃料化等が困難な廃棄物は焼却処分となります。燃え殻は協力処理工場にて焼成キルン (写真下) で焼成し、焼成砂はアスファルトの骨材などへリサイクルします。



■排出事業者へ役立つ提案も重要な使命

廃棄物のリサイクルは処理業者によって得意、不得意な物があります。一方、企業の廃棄物は多様であり、また、ゼロエミッション宣言をした企業がその後の製品開発や製造工程変更によってリサイクルが困難な廃棄物を排出することもあります。当社でリサイクルできない場合には、当社の幅広いネットワークを通じて、収集運搬からリサイクルまでのコストを考慮して、お客様に適した廃棄物処理の提案を致します。



リサイクルの基本は分別にあります。廃棄物排出時における分別が最も実施しやすくコストがかかりません。当社では排出事業者の廃棄物に応じて、リサイクルの現状からみた最適な分別区分や社内教育に役立たせる情報もお知らせできます。そのまま廃棄処分にしてしまうものにも再生可能資源があります。お気軽にご相談ください。